

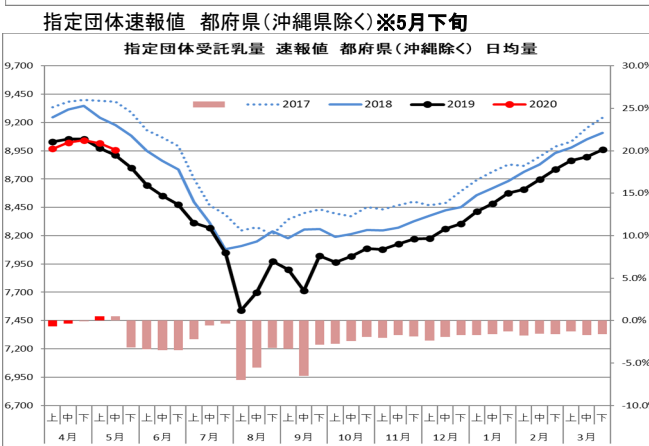
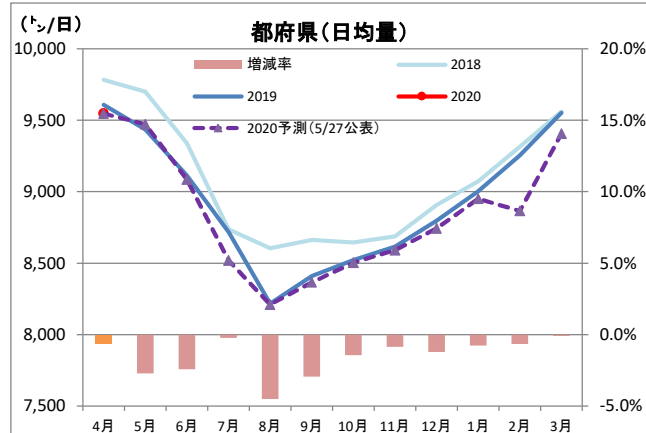
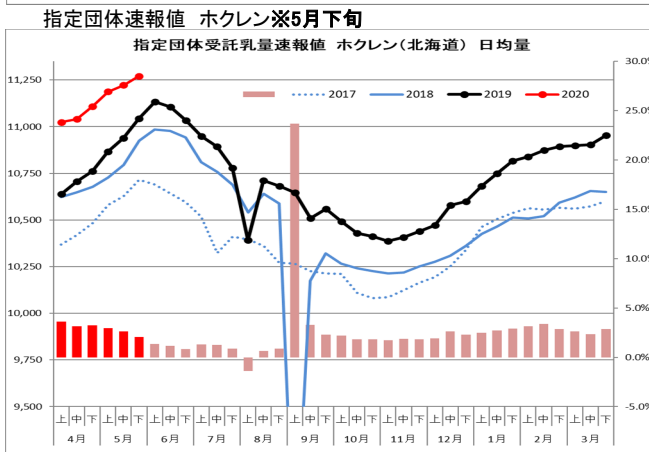
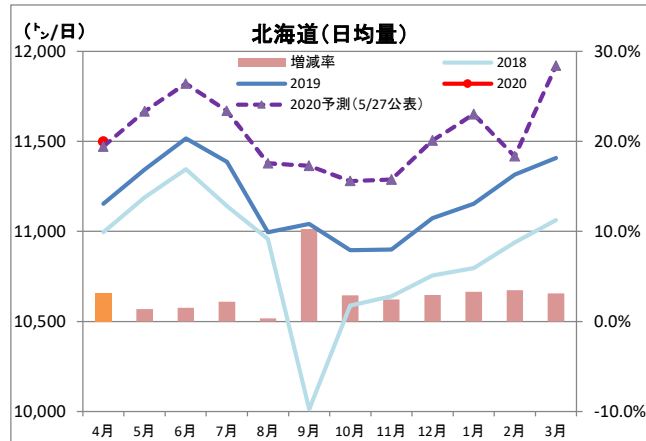
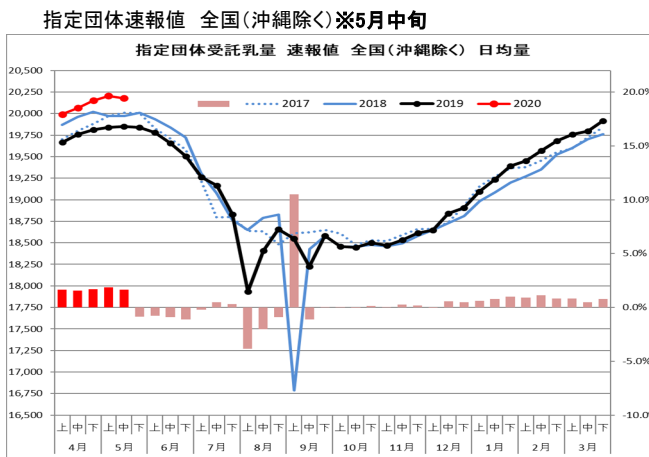
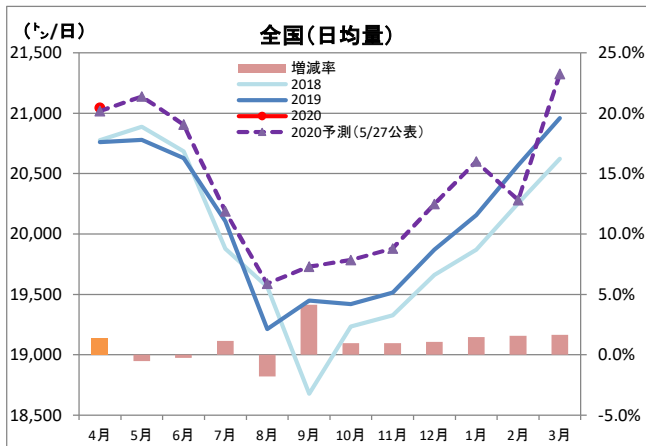
Jミルクが2020年5月27日に公表した「需給見通し(※2020年3月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。毎月25日の「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も随時、配信していきます。発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《今後の需給基調の変化に注視が必要～新型コロナウイルス感染拡大による生乳需給への影響について～》

- ・4月の需給実績については、以下に示す通り、新型コロナウイルス感染拡大による学乳停止や外出自粛等の影響を受け、飲用等向の処理が大幅減となった一方で、乳製品向の処理量が大幅に増加し、脱脂粉乳・バター在庫がさらに積み上がる状況となった。また、牛乳乳製品以外にも家畜や枝肉市場も下落しており、大きな影響を受けている。
- ・一方、家庭内消費については、農林水産省の「プラスワンプロジェクト」等の関係者による消費拡大の取組みが奏功し、好調を維持しており、5月になってやや落ち着いたものの依然として高い伸び率の販売状況となっている。
- ・なお、北海道が生乳生産のピークを迎えているものの、関係者の努力によって、処理不可能乳の発生は回避できる見通しとなった。今後については、学乳や飲食店等が再開されていくが、需給状況の先行きは依然不透明なことから、今後の牛乳乳製品の需給動向を注視してゆく必要がある。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

- (1)4月の生乳生産量は、全国631千<sup>ト</sup>、(前年同月比101.4%)、北海道345千<sup>ト</sup>、(同103.1%)、都府県286千<sup>ト</sup>、(同99.4%)。
- (2)全国では、Jミルク予測値(631千<sup>ト</sup>)を若干上回って推移している。
- (3)北海道は、予測値(344千<sup>ト</sup>)を若干上振れしており、引き続き好調に推移している。
- (4)都府県は、予測値(286千<sup>ト</sup>)と同程度となっており、生産量は回復傾向にある。
- (5)直近の指定団体速報値によると、全国が同101.7%(5月中旬)、北海道が同102.1%(5月下旬)、都府県(沖縄除く)が同100.5%(5月中旬)。



**【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。**

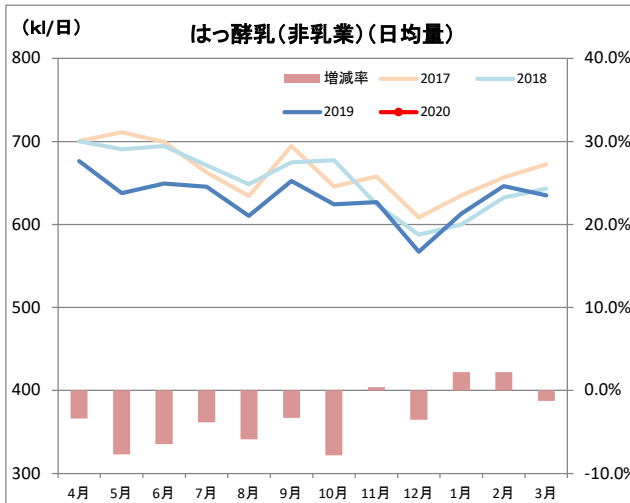
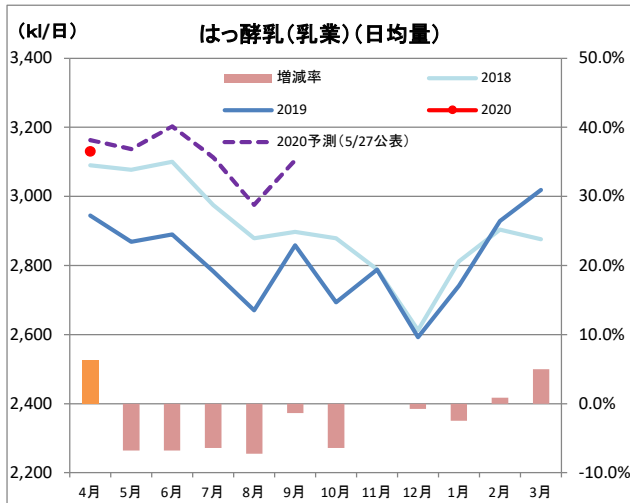
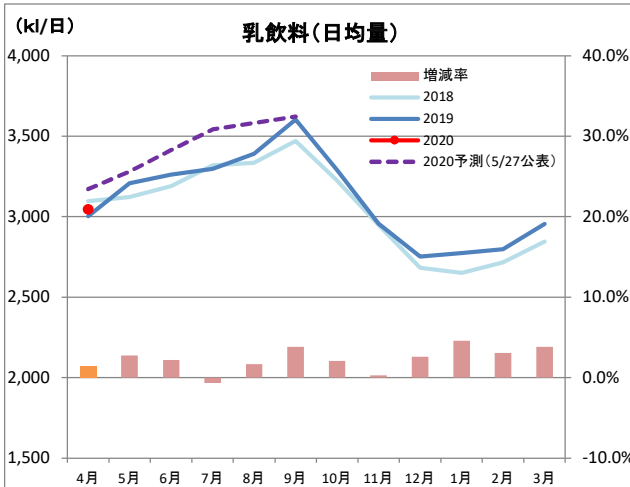
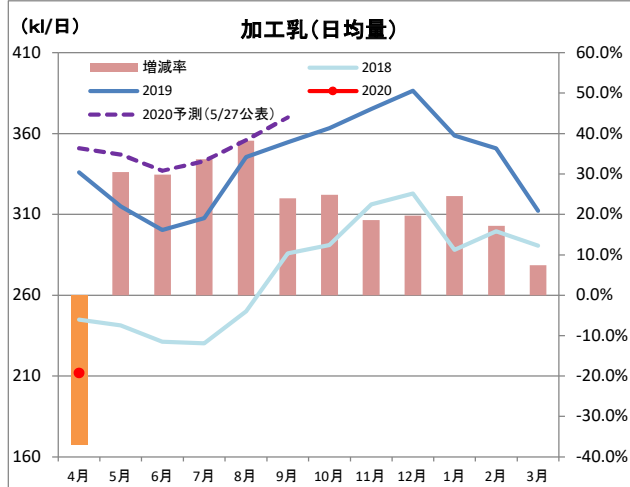
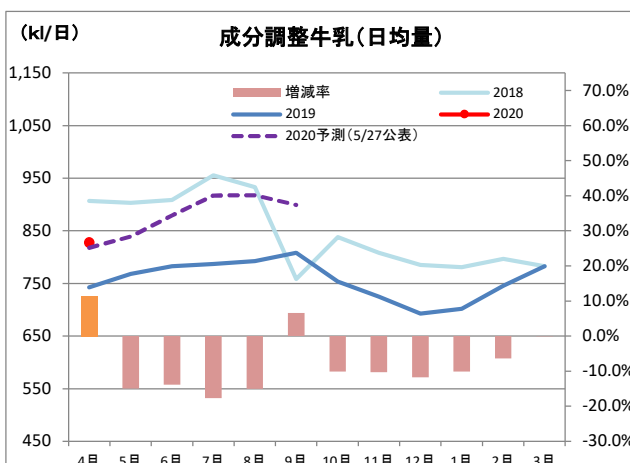
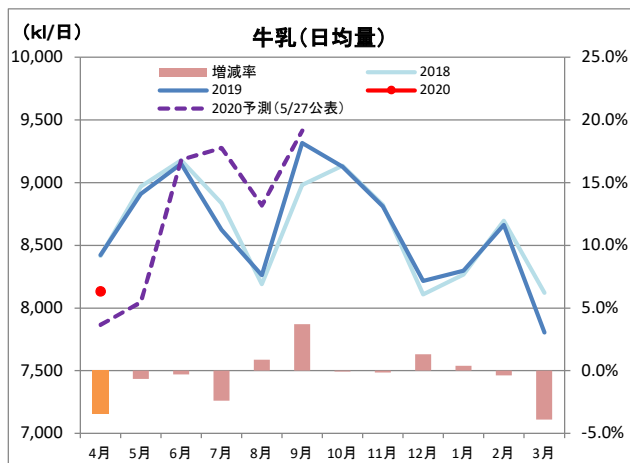
(1) 4月の牛乳等生産量は、牛乳244千kl(前年同月比96.6%)、成分調整牛乳25千kl(同111.4%)、加工乳6.4千kl(同63.1%)、乳飲料91千kl(同101.4%)となり、牛乳類で367千kl(同97.0%)で推移している。

なお、予測値との比較では、牛乳(予測値:236kl)は上振れしているが、加工乳(予測値:11千kl)については、大きく下振れしている。

(2) 「牛乳」のうち、「業務用以外」は同109%と前年を大きく上回っているが、「業務用」は同72.6%、「学乳」は、臨時休校の影響によって21.9%と前年を大きく下回っている。

(3) はっ酵乳(乳業)は94千kl(同106.3%)、非乳業実績(3月)についても同102.2%と前年を上回っている。なお、はっ酵乳(乳業)は、予測値(95kl)より若干下振れして推移している。

※はっ酵乳(非乳業)資料: (一社)食品需給研究センター「食品製造業の生産動向」



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)4月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比119.2%、成分調整牛乳:同109.4%、加工乳:同108.3%、乳飲料:同112.5%。

・牛乳類では同117.0%と前年を大きく上回っている。

・販売単価は、牛乳:189.9円、成分調整牛乳:173.7円、加工乳:184.3円、乳飲料:150.9円。

(3)直近(本年2月~)の動向(表②参照)

・直近(5/25週)の販売個数は、牛乳:前年同期比113.9%、成分調整牛乳:同103.7%、加工乳:同101.2%、乳飲料:同107.6%。

・牛乳類では同111.7%と前年を大きく上回って推移している。

・販売単価は、牛乳:190.2円、成分調整牛乳:174.9円、加工乳:180.6円、乳飲料:150.8円。

・各品目とも前週(5/18週)をやや上回って推移している。

※出典 (株)インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

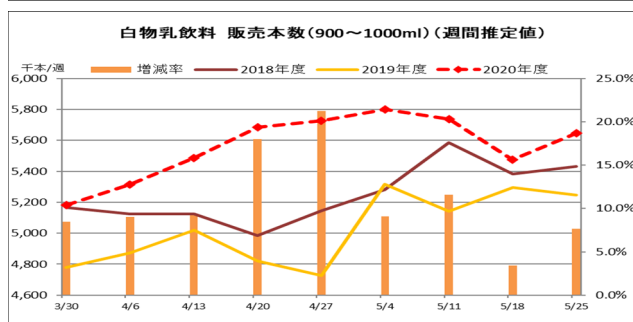
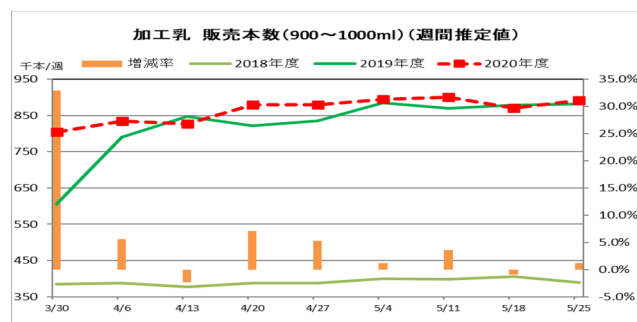
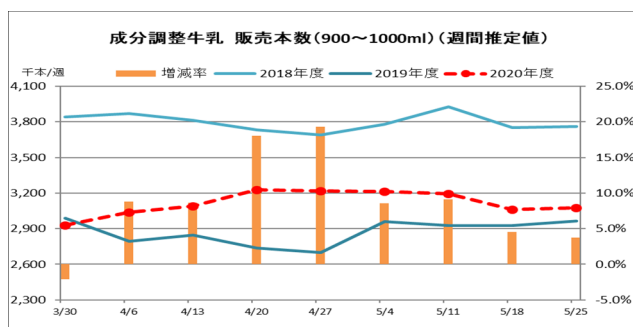
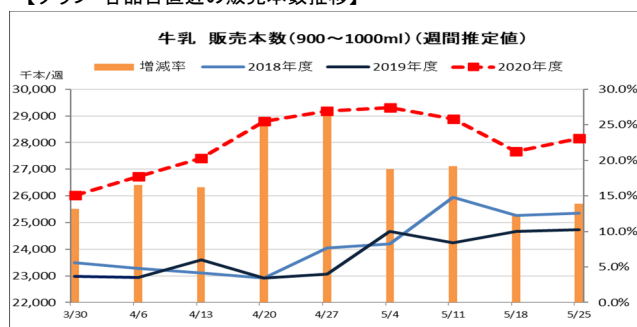
【表① 牛乳類の月別販売動向】

品目	区分	2019/4-	2019/5-	2019/6-	2019/7-	2019/8-	2019/9-	2019/10-	2019/11-	2019/12-	2020/1-	2020/2-	2020/3-	2020/4-
		販売個数	134,835	146,125	146,089	150,712	157,017	153,596	148,298	134,058	136,831	130,706	130,783	148,892
	販売個数前年比	95.8	96.1	96.8	91.6	96.8	100.1	100.8	99.7	99.1	100.8	106.9	107.9	117.0
	販売単価	181.1	182.0	182.1	182.5	183.2	182.6	182.4	181.8	182.0	181.8	181.5	182.0	182.7
牛乳	販売個数	98,671	106,849	106,658	109,892	115,243	111,701	108,225	97,871	101,065	96,416	96,544	110,562	117,643
	販売個数前年比	98.2	97.4	97.8	92.4	98.0	100.5	102.6	100.2	100.0	101.4	107.7	109.1	119.2
	販売単価	188.6	189.5	189.8	190.3	190.9	190.5	190.2	189.7	189.4	189.4	189.1	189.3	189.9
成分調整牛乳	販売個数	12,089	12,781	12,615	13,213	13,581	13,640	12,364	11,490	11,514	11,016	11,040	12,526	13,231
	販売個数前年比	73.5	77.0	78.1	74.8	78.2	105.5	80.7	82.0	80.7	82.5	87.6	87.5	109.4
	販売単価	171.1	172.8	173.1	173.5	173.9	173.5	173.8	172.9	173.0	172.9	172.6	173.5	173.7
加工乳	販売個数	3,903	3,831	3,805	3,959	3,942	3,972	3,871	3,321	3,286	3,103	3,064	3,449	3,579
	販売個数前年比	183.7	180.4	180.3	173.9	178.2	160.1	178.1	180.9	179.3	178.0	188.6	189.0	108.3
	販売単価	184.5	187.9	186.2	186.6	188.2	184.7	183.3	182.6	183.5	182.7	182.1	182.9	184.3
乳飲料	販売個数	20,772	22,664	23,011	23,648	24,251	24,283	23,838	21,376	20,966	20,172	20,135	22,356	23,367
	販売個数前年比	94.2	96.1	98.0	92.2	96.7	90.2	99.0	102.4	100.8	103.7	109.5	108.8	112.5
	販売単価	150.3	150.8	150.7	150.6	151.1	151.0	151.4	150.3	150.5	149.9	150.0	150.4	150.9

【表② 牛乳類の販売動向(直近の動向)】

品目	区分	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-	3.30-	4.6-	4.13-	4.20-	4.27-	5.4-	5.11-	5.18-	5.25-
		販売個数	30,432	31,247	30,644	33,774	32,555	33,491	32,590	34,687	34,935	35,917	36,813	38,603	39,030	39,227	38,725	37,077
	販売個数前年比	101.2	100.7	100.8	110.4	106.4	108.3	105.9	110.3	111.4	114.4	114.0	123.4	124.6	115.9	116.7	109.8	111.7
	販売単価	181.5	181.4	181.8	181.4	182.0	181.9	182.0	182.3	181.9	182.5	182.7	183.0	183.3	183.1	182.9	182.9	182.8
牛乳	販売個数	22,464	23,070	22,687	24,928	24,150	24,851	24,190	25,793	26,023	26,729	27,412	28,809	29,199	29,316	28,892	27,672	28,160
	販売個数前年比	101.9	101.3	101.7	111.0	107.8	109.6	106.9	111.5	113.2	116.5	116.2	125.8	126.6	118.8	119.2	112.2	113.9
	販売単価	189.1	189.0	189.3	188.9	189.3	189.3	189.3	189.5	189.1	189.9	190.1	190.3	190.5	190.4	190.3	190.2	190.2
成分調整牛乳	販売個数	2,546	2,644	2,556	2,861	2,756	2,817	2,756	2,902	2,927	3,040	3,090	3,230	3,224	3,215	3,195	3,060	3,074
	販売個数前年比	82.4	82.9	81.6	90.7	86.8	87.4	86.4	89.2	97.9	108.8	108.6	118.0	119.5	108.6	109.1	104.5	103.7
	販売単価	173.0	172.2	173.1	172.6	173.7	173.3	173.4	173.9	173.2	173.5	173.4	174.1	175.0	175.1	174.6	174.9	174.9
加工乳	販売個数	716	734	714	796	755	767	741	805	804	834	827	879	879	895	901	871	892
	販売個数前年比	179.7	176.9	178.2	195.4	183.3	183.9	182.5	190.0	133.0	105.5	97.6	107.0	105.3	101.2	103.6	99.1	101.2
	販売単価	182.1	182.0	182.2	182.8	182.3	182.7	182.8	184.7	184.6	184.1	184.7	183.6	182.6	181.5	180.8	180.8	180.6
乳飲料	販売個数	4,708	4,800	4,688	5,190	4,894	5,056	4,904	5,187	5,182	5,313	5,485	5,686	5,728	5,801	5,737	5,474	5,646
	販売個数前年比	103.7	103.1	102.2	113.6	106.4	109.5	107.6	111.6	108.4	109.1	109.3	118.0	121.2	109.1	111.6	103.4	107.6
	販売単価	150.1	150.1	149.9	150.1	150.3	150.4	150.5	150.8	150.5	150.3	150.9	151.5	151.3	151.0	150.7	150.6	150.8

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績







(1)直近(本年2月～)の動向(表①参照)

直近(5/25週)の販売個数は、ドリンクタイプ(100～250ml):前年同期比100%未満、個食タイプ(70～130ml):同100.%程度、大容量タイプ(350～500ml):同110%以上。

(2)ドリンクタイプは前週を下回り2週連続で前年割れとなっているが、個食タイプは前年並み、大容量タイプは引き続き前年を上回って推移している。

【表① ヨーグルト類の販売動向】

品目	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-	3.30-	4.6-	4.13-	4.20-	4.27-	5.4-	5.11-	5.18-	5.25-
ドリンクタイプ	⇒	↻	↑	↻	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	⇒	⇒	↻	↻
個食タイプ	↻	⇒	↻	↻	⇒	⇒	⇒	↻	↻	⇒	↻	↑	↻	⇒	↻	⇒
大容量タイプ	↻	↻	↑	⇒	↻	↻	↻	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↻	↑

-  : 前年比90%未満
-  : 前年比90%以上100%未満
-  : 前年比100%以上105%未満
-  : 前年比105%以上110%未満
-  : 前年比110%以上120%未満
-  : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

《参考情報》

・家庭用バターの消費動向について  
 インテージデータでは直近(5/18週)の販売個数は前年同期比130.2%となりと、前週(5/11週)137.2%より伸び率は低くなったものの引き続き前年を大きく上回って推移している。

・みんなのミルクレシピキャンペーンがスタート  
 MILK JAPAN特設サイト: <https://www.milkjapan.net/pc/milk-recipe-campaign/>

・牛乳の日・牛乳月間SNS企画「ミルクでつながる「ありがとう」の輪 #ミルクのパトンリレー」  
 JミルクHP: <https://www.j-milk.jp/milkday/#hdg1>  
 JミルクFacebook: <https://www.facebook.com/jmilkjp/>  
 JミルクInstagram: [https://www.instagram.com/j\\_milk\\_official/](https://www.instagram.com/j_milk_official/)

・新型コロナウイルス関連情報  
 「家庭用バターの供給について、消費者の皆さまへ」  
 JミルクHP: <https://www.j-milk.jp/knowledge/nutrition/h4ogb4000003azz.html#hdg1>

・英、カナダ 官民協力酪農乳業支援も 新型コロナウイルス受け各国が食の支援策  
 JミルクHP: <https://www.j-milk.jp/report/international/h4ogb4000003som.html>

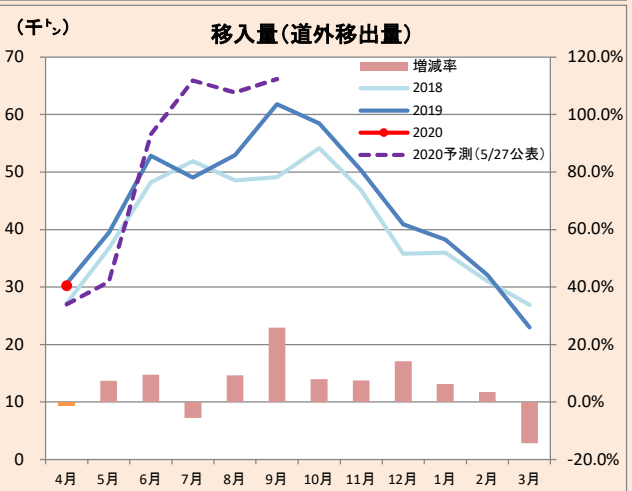
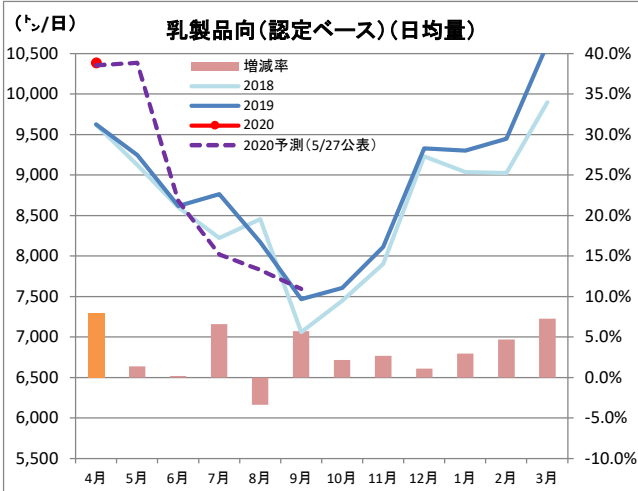
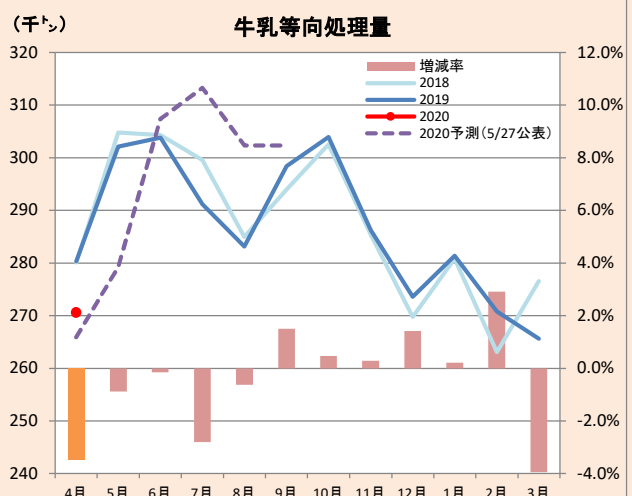
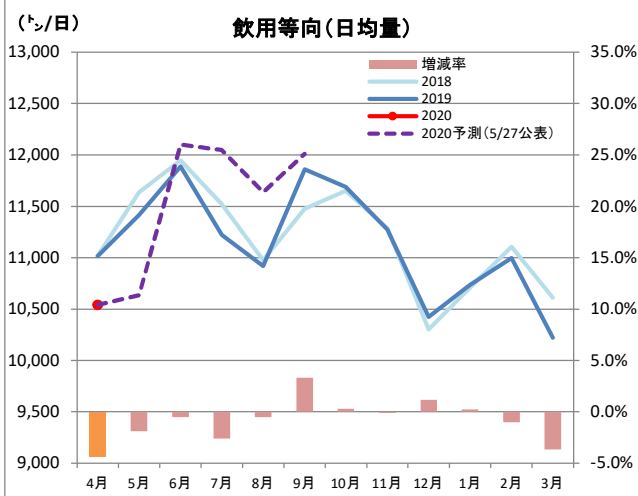
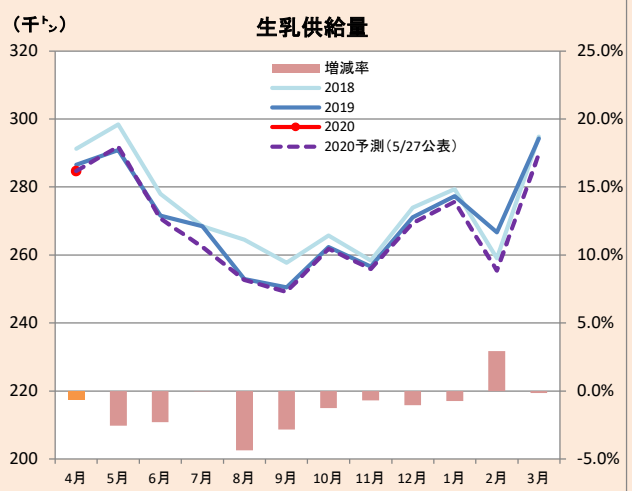
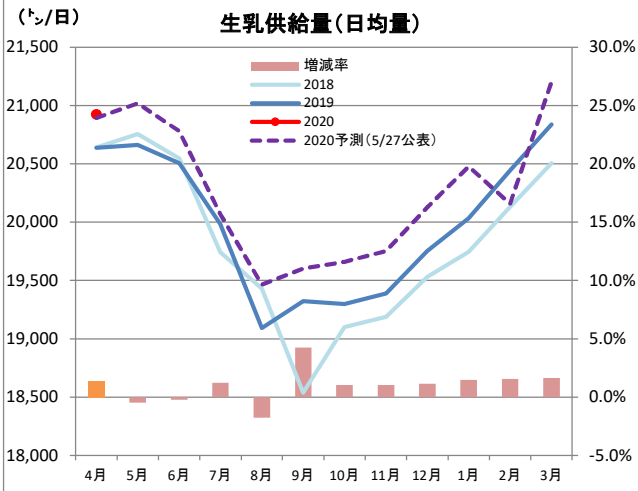
・「2020年度上期の生乳及び牛乳乳製品の需給見通しと課題について」  
 JミルクHP: <https://www.j-milk.jp/gyokai/jukyuu/h4ogb4000003rie.html>

【用途別処理量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)4月の生乳供給量は628千トン(前年同月比101.4%)、飲用等向316千トン(同95.7%)、乳製品向(認定ベース)312千トン(同107.9%)。  
 (2)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:627千トン)、飲用等向(予測値:316千トン)、乳製品向(予測値:311千トン)ともに同程度で推移している。  
 (3)北海道の生産は好調であり、都府県についても回復傾向にあるため、今後も生乳供給量は前年を超えて推移することが予測される。

【都府県の生乳需給】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)4月の生乳供給量285千トン(前年同月比99.4%)、牛乳等向271千トン(同96.5%)、北海道からの移入量については、30千トン(同98.8%)。  
 (2)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:285千トン)は同程度で推移しているものの、牛乳等向(予測値:266千トン)、北海道からの移入量(予測値:27千トン)は上振れしている。



【脱脂粉乳・バター需給】 ※増減率は、日均量で算出。

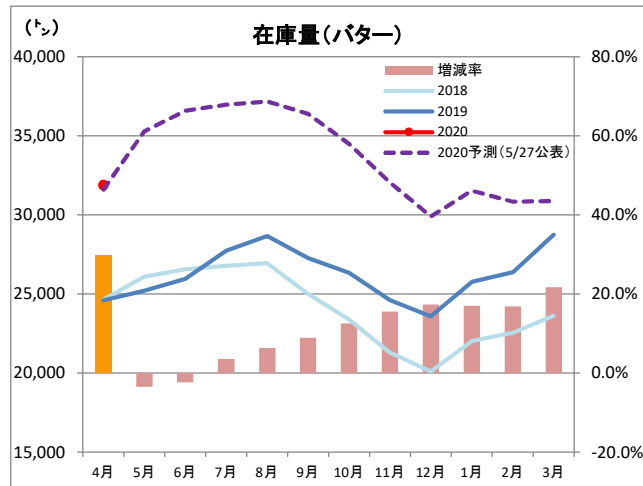
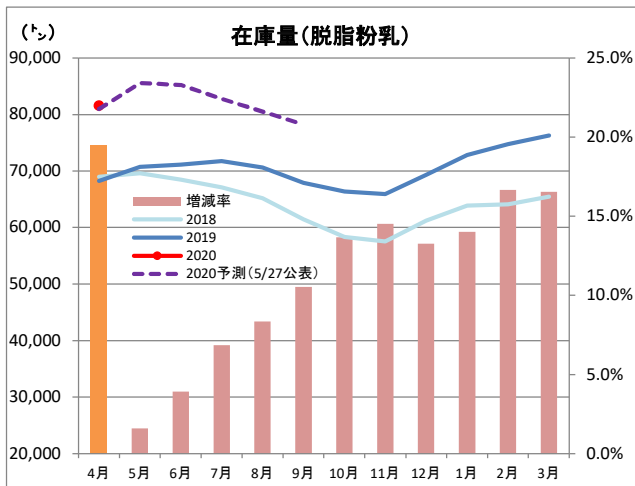
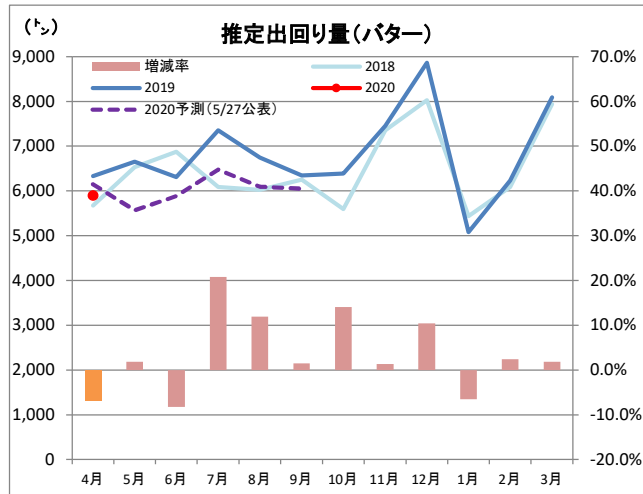
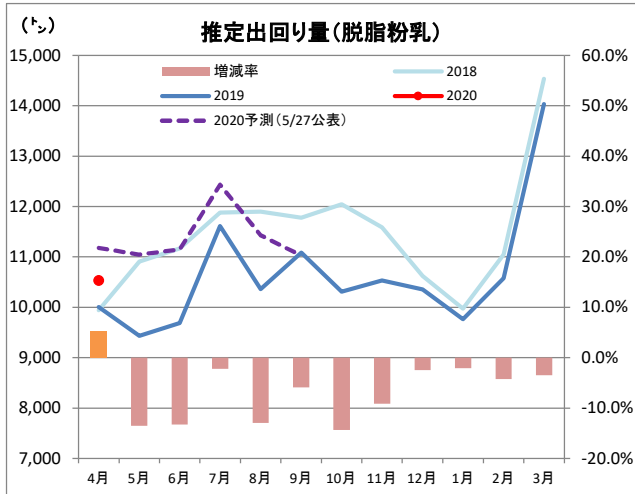
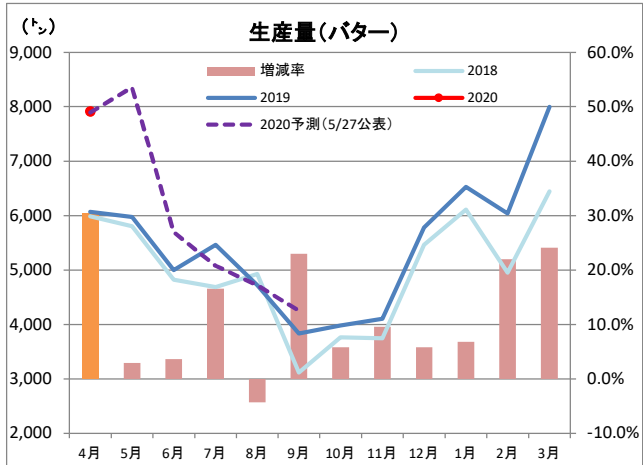
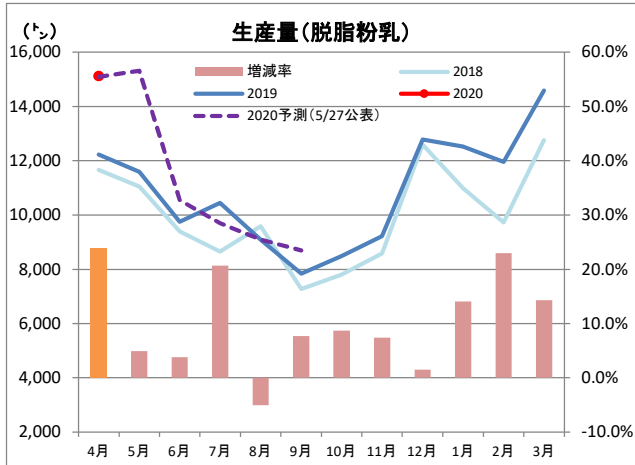
(1) 脱脂粉乳は、4月の生産量は15.1千トン(前年同月比123.7%)、推定出回り量は10.5千トン(同105.3%)、その結果、在庫量は81.6千トン(同119.5%)。推定出回り量(≒需要量)は1年ぶりに増加に転じた。

なお、予測値との比較では、生産量(予測値:15.1千トン)は同程度となったものの、推定出回り量(予測値:11.2千トン)が下振れし、在庫量(予測値:80.9千トン)は上振れとなった。

(2) バターは、4月の生産量は7.9千トン(同93.2%)、推定出回り量は5.9千トン(同93.2%)、その結果、在庫量は31.9千トン(同129.6%)。

推定出回り量(≒需要量)は大幅に減少した。

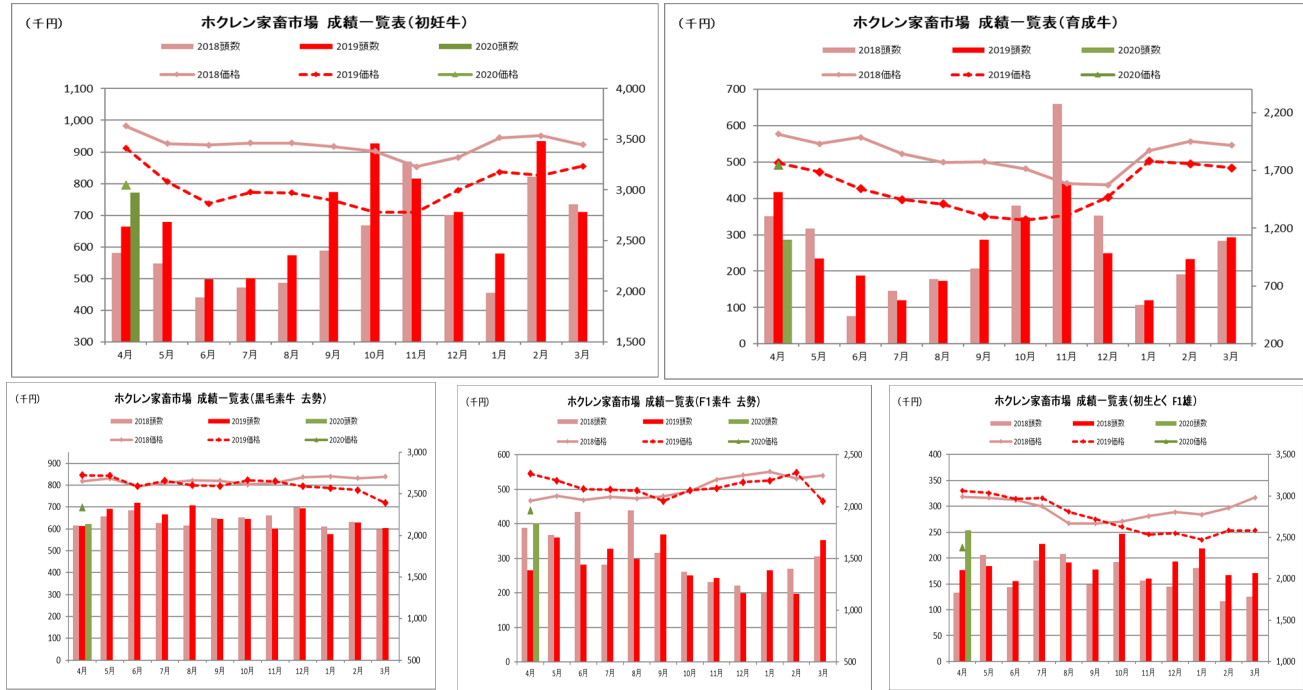
なお、予測値との比較では、生産量(予測値:7.9千トン)は同程度、推定出回り量(予測値:6.2千トン)は若干下振れ、在庫量(予測値:31.6千トン)は若干上振れしている。



【家畜販売価格動向】

(1)4月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は796千円(前年同期比87.2%)、育成牛価格は491千円(同98.6%)、和牛素牛(去勢)価格は698千円(82.6%)、F1素牛(去勢)価格は439千円(同80.6%)、F1初生(雄)価格は220千円(66.8%)。  
 (2)上場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同112.7%、育成牛:同72.7%。また、和牛素牛(去勢):同101.2と前年と同程度だったが、F1初生(雄):同122.8%、F1素牛(去勢):同133.0%と大きく増加している。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)



【枝肉市場の動向】

(1)4月の枝肉市場価格動向について、黒毛和牛は1,839円/kg(前年同月比73.8%)、F1(交雑種)は枝肉価格1,227円/kg(前年同月比75.6%)と前年を大きく下回っている。

(2)と畜頭数についても黒毛和牛:37,009頭(前年同月比88.9%)、F1(交雑種):18,787頭(前年同月比87.7%)と前年を大きく下回っている。

※農林水産省「食肉流通統計」。

